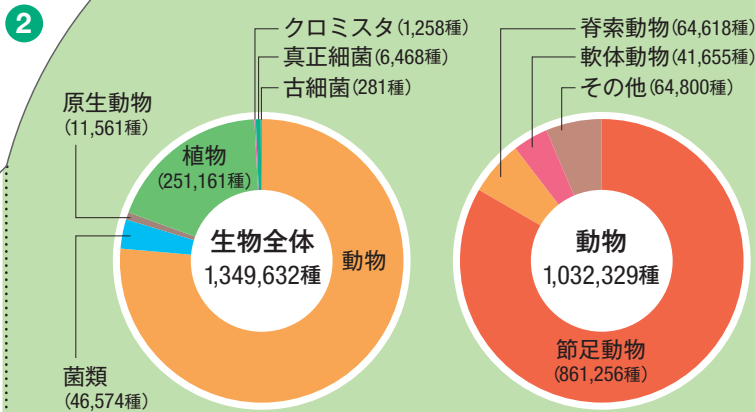




いまの時代の 生きものの種数の割合



種数は、Catalogue of Lifeを参照した。

<http://www.catalogueoflife.org/col/info/totals>

Roskov Y., Kunze T., Paglinawan L., Abucay L., Orrell T., Nicolson D., Culham A., Bailly N., Kirk P., Bourgoin T., Baillargeon G., Hernandez F., De Wever A., Didžiulis V., eds (2013). Species 2000 & ITIS Catalogue of Life, 15th August 2013. Digital resource at www.catalogueoflife.org/col. Species 2000: Reading, UK.

側面 | 地球の変動と生きものの盛衰

始生代と原生代では、27億年前と19億年前に大陸形成、火山活動、酸素上昇、氷河期という事件が起き、それぞれの地層からシアノバクテリア、真核生物の痕跡が発見されている。原生代末にはスノーボールアースという大事件があり、その後多細胞生物が現れる。古生代と中生代には、5回もの大絶滅があった。海の生きものの絶滅は、海が後退し大陸棚が減少した時期と重なる。陸の上での絶滅には、寒さより乾燥の影響が大きいようだ。地球と生きものの変動の間の因果関係を言うのは難しいが、考えはあれこれ膨らむ。

参考文献：Geological Society of America Bulletin vol.125 no. 7/8 1027-1052 (2013)
 Science vol.235(4793) 1156-1167 (1987)
 The Earth System (3ed), Pearson Education (2011)
 生命と地球の共進化 川上伸一 NHK出版 (2000)

